

2021年7月21日

協会活動に参加しやすくなりました

iCD協会では、参加型のテーマ別活動を推進しており、委員会や研究部会など様々なグループで充実した活動が行われています。そこで、より多くの皆様に当協会の活動に参加していただくことを目的に、このたび次のように会員及び会費体系の見直しを行いました。これらの見直しは、去る6月24日に当協会の第4回定時総会で承認されました。

1. 会員区分(A~C)の新設

企業規模に応じた会費体系としましたので、将来の発展が期待される比較的小規模の企業様でも当協会の活動に参加しやすくなりました。

【会員体系】

種類	区分	属性	新体系		旧体系	
			入会金	年会費	入会金	年会費
正会員 準会員	A	i) 専ら iCD の自社内活用のみを行っている、従業員数が 100 名を超え、資本金が 5,000 万円を超える会員 ii) iCD に関する営利活動を行っている会員 iii) 本協会理事を務める会員	30万円	30万円	30万円	30万円
	B*	上記 A に該当せず、専ら iCD の自社内活用のみを行っている、従業員数が 100 名以下で資本金が 5,000 万円以下の会員	20万円	20万円		
	C*	上記 A に該当せず、専ら iCD の自社内活用のみを行っている、従業員数が 50 名以下で資本金が 2,000 万円以下の会員	なし	12万円		
賛助会員	賛助	iCD 協会の運営に関与しないが、iCD 普及促進活動に協力する企業、団体、個人	別途定める		別途定める	

2. グローバル会員の新設

英 SFIA との連携強化により、2021 年度よりグローバル連携サービスを開始することに伴い、次の通りグローバル会員を新設することが承認されました。当該サービスに関心ある皆様には、グローバル会員としての入会を募集(既存の一般会員の場合は入会手続きなしでの切替)します。なお、グローバル会員の詳細については、協会事務局までお問い合わせください。

【グローバル会員】

種類	区分	一般会員		グローバル会員	
		入会金	年会費	入会金	年会費
正会員 準会員	A	30万円	30万円	30万円	45万円
	B	20万円	20万円	20万円	30万円
	C	なし	12万円	なし	20万円

3. 2021年度の新たな取り組み

当初の協会活動は iCD 活用企業認証制度をはじめとして会員企業個々のビジネス活性化を目指した運営が主体でしたが、近年は会員企業には関心あるテーマごとに参集頂きコミュニティ的な活動を展開して成果を創出されるケースが充実してきました。2021 年度の新たな代表的な取り組みは次のとおりです。

- AIタスクディクショナリの公開(6/30 発表済み)
〔参照 URL〕 <https://www.icda.or.jp/ai-task/>
- iCD × SFIA 連携ソリューションのご提供について(7/12 発表済み)
〔参照 URL〕 <https://www.icda.or.jp/sfia-global/>
- 営業拡張版タスクディクショナリの公開(近々、発表予定)
- 農業版タスクディクショナリの公開(近々、発表予定)
- その他、DX やコンサルタント認定への取組みなどの発表を計画中